



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社横河ブリッジホールディングス
コード番号 5911 URL <https://www.ybhd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 和彦
問合せ先責任者 (役職名) 財務IR室長 (氏名) 中岡 康次 TEL 03-3453-4116
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	125,192	4.9	12,712	41.9	12,745	38.4	9,794	46.0
2023年3月期第3四半期	119,303	22.2	8,957	△9.0	9,208	△8.2	6,709	△9.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 11,001百万円 (78.7%) 2023年3月期第3四半期 6,156百万円 (△1.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	240.20	-
2023年3月期第3四半期	162.85	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	203,452	123,839	59.2	2,969.69
2023年3月期	194,456	117,653	58.8	2,794.45

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 120,378百万円 2023年3月期 114,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	40.00	-	45.00	85.00
2024年3月期	-	45.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	50.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
配当予想の修正については、本日（2024年1月29日）公表いたしました「期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	166,000	0.6	16,000	5.1	16,000	3.5	12,000	6.7	294.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	43,164,802株	2023年3月期	43,164,802株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,629,017株	2023年3月期	2,262,104株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	40,774,987株	2023年3月期3Q	41,204,632株

(注)自己株式数には、「役員向け株式交付信託」の信託財産として所有する当社株式を含めて記載しております。
(2024年3月期第3四半期末 241,104株、2023年3月期末 241,104株)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
売上高、受注高及び受注残高 (連結)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①受注高

橋梁事業につきましては、当第3四半期(2023年10月1日～2023年12月31日)においては、新設工事は、近畿地方整備局・田並川橋、九州地方整備局・日南油津大橋、保全工事は、中部地方整備局・302号地蔵川高架橋橋梁補強補修、首都高速道路・構造物改良2-11、本州四国連絡高速道路・因島大橋耐震補強などの大型工事を受注することができ、発注量が伸び悩む中、当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)における橋梁事業の受注高は前年同期並みの607億3千万円(前年同期比5.8%減)となりました。

エンジニアリング関連事業につきましては、事業全体の受注高は345億2千万円(同34.0%減)となりました。システム建築事業につきましては、建設コスト上昇等による設備投資計画の延期や見直しによる遅れが散見され、受注は伸び悩む結果となりました。一方で引合いは堅調に推移しており、受注回復の兆しが見えつつあります。なお、システム建築の受注面積につきましては、43万㎡(前年同期62万㎡)となりました。

先端技術事業につきましては、精密機器製造事業の受注が伸び悩み、受注高は19億円(同32.6%減)となりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における受注高は971億6千万円(同18.8%減)となりました。

②経営成績

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は1,251億9千万円(前年同期比4.9%増)となり、過去最高を更新しました。また、営業利益は127億1千万円(同41.9%増)、経常利益は127億4千万円(同38.4%増)と高水準で推移し、投資有価証券の売却益等の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は過去最高の97億9千万円(同46.0%増)となりました。以下事業別に記載いたします。

(橋梁事業)

橋梁事業につきましては、豊富な手持ち工事が順調に進捗し、売上高は過去最高の718億4千万円(前年同期比17.6%増)となりました。営業利益は設計変更等により損益が改善し62億4千万円(同16.7%増)となりました。

(エンジニアリング関連事業)

エンジニアリング関連事業につきましては、売上高は509億8千万円(前年同期比6.6%減)となりました。システム建築事業における損益の改善が寄与し、営業利益は過去最高の75億5千万円(同85.3%増)となりました。

(先端技術事業)

先端技術事業につきましては、受注の減少により売上高は19億1千万円(前年同期比39.0%減)、営業損失は3千万円(前年同期は4億3千万円の利益)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の連結売上高・受注高・受注残高 (億円)

			前第3四半期累計	当第3四半期累計
売上高	橋梁事業	新設橋梁事業	401	479
		保全事業	192	201
		海外事業	16	37
		小計	610	718
	エンジニアリング 関連事業	システム建築事業	417	384
		土木関連事業	71	66
		建築・機械鉄構事業	57	59
		小計	546	509
	先端技術事業	精密機器製造事業	25	13
		情報処理事業	6	5
		小計	31	19
不動産事業		4	4	
合計			1,193	1,251
受注高	橋梁事業	新設橋梁事業	554	395
		保全事業	88	191
		海外事業	1	21
		小計	644	607
	エンジニアリング 関連事業	システム建築事業	358	283
		土木関連事業	86	13
		建築・機械鉄構事業	78	48
		小計	523	345
	先端技術事業	精密機器製造事業	22	14
		情報処理事業	5	4
		小計	28	19
合計			1,196	971
受注残高	橋梁事業	新設橋梁事業	1,004	880
		保全事業	560	518
		海外事業	46	16
		小計	1,611	1,414
	エンジニアリング 関連事業	システム建築事業	221	159
		土木関連事業	323	247
		建築・機械鉄構事業	64	44
		小計	609	452
	先端技術事業	精密機器製造事業	12	8
		情報処理事業	3	3
		小計	15	11
合計			2,236	1,879

(注) 金額は単位未満を切捨て表示しています。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ89億9千万円増加し、2,034億5千万円となりました。流動資産は、「受取手形・完成工事未収入金等」が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ94億6千万円増加しました。固定資産は、「有形固定資産」が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ4億7千万円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ28億円増加し、796億1千万円となりました。その主な要因は、「支払手形・工事未払金等」や「短期借入金」が減少し、「長期借入金」が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ61億8千万円増加し、1,238億3千万円となりました。その主な要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上、配当金の支払い等によるものです。この結果、自己資本比率は59.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期連結業績予想につきましては、前回（2023年10月30日付け）公表いたしました予想値から変更はありません。また、期末配当につきましては、予定しておりました1株当たり45円から5円増配の50円に修正させていただきます。詳細は本日発表の「期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	25,143	25,475
受取手形・完成工事未収入金等	101,026	110,440
棚卸資産	3,745	3,390
その他	3,440	3,516
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	133,354	142,821
固定資産		
有形固定資産		
土地	15,143	15,143
その他(純額)	23,463	22,642
有形固定資産合計	38,607	37,786
無形固定資産	2,454	2,905
投資その他の資産		
投資有価証券	12,771	12,625
その他	7,269	7,314
投資その他の資産合計	20,040	19,939
固定資産合計	61,101	60,630
資産合計	194,456	203,452

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	26,343	21,472
短期借入金	9,141	36
1年内償還予定の社債	300	—
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	2,749	1,895
未成工事受入金	2,453	2,447
工事損失引当金	3,777	3,539
賞与引当金	2,640	1,660
その他の引当金	205	219
その他	2,548	3,649
流動負債合計	50,660	35,422
固定負債		
社債	3,100	4,100
長期借入金	8,400	24,400
役員退職慰労引当金	69	34
株式報酬引当金	193	301
退職給付に係る負債	12,333	12,931
その他	2,047	2,423
固定負債合計	26,143	44,190
負債合計	76,803	79,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,435	9,435
資本剰余金	9,150	9,150
利益剰余金	94,371	100,474
自己株式	△2,465	△3,467
株主資本合計	110,491	115,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,649	4,626
土地再評価差額金	159	159
その他の包括利益累計額合計	3,809	4,786
非支配株主持分	3,352	3,460
純資産合計	117,653	123,839
負債純資産合計	194,456	203,452

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	119,303	125,192
売上原価	102,543	104,254
売上総利益	16,760	20,937
販売費及び一般管理費	7,802	8,225
営業利益	8,957	12,712
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	315	317
持分法による投資利益	37	47
その他	146	136
営業外収益合計	500	505
営業外費用		
支払利息	67	123
シンジケートローン手数料	—	150
コミットメントフィー	71	62
前受金保証料	25	48
団体定期保険料	52	53
その他	33	33
営業外費用合計	249	472
経常利益	9,208	12,745
特別利益		
固定資産売却益	0	113
投資有価証券売却益	976	1,665
関係会社清算益	—	68
特別利益合計	977	1,848
特別損失		
固定資産処分損	65	177
特別損失合計	65	177
税金等調整前四半期純利益	10,119	14,416
法人税等	3,173	4,392
四半期純利益	6,946	10,024
非支配株主に帰属する四半期純利益	236	230
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,709	9,794

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	6,946	10,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△790	976
その他の包括利益合計	△790	976
四半期包括利益	6,156	11,001
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,919	10,771
非支配株主に係る四半期包括利益	236	230

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっています。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	橋梁事業	エンジニア リング関連 事業	先端技術 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	61,090	54,605	3,134	473	119,303	—	119,303
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	61,090	54,605	3,134	473	119,303	—	119,303
セグメント利益	5,351	4,079	435	272	10,138	△1,181	8,957

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,181百万円は、全社費用等であり、主に当社の総務・人事・経理部門等の管理部門に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	橋梁事業	エンジニア リング関連 事業	先端技術 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	71,846	50,986	1,911	447	125,192	—	125,192
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	71,846	50,986	1,911	447	125,192	—	125,192
セグメント利益	6,248	7,559	△30	294	14,072	△1,360	12,712

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,360百万円は、全社費用等であり、主に当社の総務・人事・経理部門等の管理部門に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. その他

売上高、受注高及び受注残高（連結）

期 別		前第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	増 減 (△印は減)	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
区 分		金 額(百万円)	金 額(百万円)	金 額(百万円)	金 額(百万円)
売 上 高	橋梁事業	61,090	71,846	10,755	87,018
	エンジニアリ ング関連事業	54,605	50,986	△3,618	72,933
	先端技術事業	3,134	1,911	△1,223	4,388
	不動産事業	473	447	△25	628
	合 計	119,303	125,192	5,888	164,968
受 注 高	橋梁事業	64,488	60,734	△3,753	81,895
	エンジニアリ ング関連事業	52,308	34,523	△17,784	71,382
	先端技術事業	2,828	1,906	△921	3,718
	合 計	119,624	97,164	△22,459	156,996
受 注 残 高	橋梁事業	161,127	141,495	△19,632	152,607
	エンジニアリ ング関連事業	60,988	45,270	△15,717	61,734
	先端技術事業	1,563	1,195	△367	1,200
	合 計	223,679	187,961	△35,717	215,542

(注) 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を除いた金額です。